（大正九年七月一日第三種郵便物認可） 大正九年十月十五日 京城日日新聞 金曜日 第百二號 （一）

京城日日新聞

社說

内地人の聲に耳を假せよ

（上）先づ全鮮實業懇話會の決議を熟讀せよ

朝鮮の有識は（内鮮人共）由來民間の聲に耳を假すことを惜み、民間の輿情を無視して顧みざる傾ある。從つて鮮人の向背利害に對しては尙ほ多少の注意を拂ふも、內地人の向背輿情に至つては全く無視して顧みざるが例なり、統監府時代に於て然り、又總督府時代に入り、例の寺內式の極端なる武斷專制主義は一層民間の輿論希望を無視すること甚しく、殆ど民情と云ふものは度外に付せり、爾來十年間、此惡傾向は繼續して朝鮮に於ける官海の風潮を成せり、故に齋藤總督新任して文化政策を宣明し、言論尊重の態度を取れるも民論無視の惡傾向は朝鮮に於ける役人の頭より牢として拔くべからず、殊に內地人の聲に至りては全く問題にせざる傾向は依然として……

……るに至り、水野政務總監の演說も亦、滿場の出席者大に滿足したる色を呈せり、吾人は總督府が始めて以來のレコード破りとして之を稱讚すると共に爾今も此態度を以て終始されんことを切望して止まざるものなり、然して更に望む所は單に民間殊に內地人の輿情に耳を假すと云ふのみに止まらず、更に進んで民間の希望要求を容れて之を實行することに吝ならんことを希望して止まざるものなり

婦人問題の將來

海老名彈正

昔封建時代には婦人の活動範圍が僅に其家庭內に限られてゐたもので、當時の婦人は結婚することに依つて將來を封じられたも同樣、……

先づ在滿鮮人を救へ

西伯利の鷲見

二　婚姻

小品　デカダンの世界

創作

熱光の下を

（三四）　曉谷

內外電報

英同盟罷業緩和乎

[illegible]

五ケ年以內に決行

獨墺合併の情勢

[illegible]

一般投票運命定まる

在留邦人必敗を覺悟し活動

[illegible]

非社會黨結束固し

[illegible]

山東問題と聯盟

[illegible]

福建軍廣東援助

[illegible]

一部承認一部拒絕

出兵に對する支那の態度

[illegible]

日支共動々作協議

[illegible]

共同出兵問題解決

[illegible]

國境外出兵聲明

同時に諸外國にも陳述

[illegible]

張氏日本出兵反對

[illegible]

第二十師團機動演習開始

各聯隊既に出發

[illegible]

對支借款態度

[illegible]

朝鮮問題調査

貴族院にて開始

貴族院卒倶樂部にては朝鮮問題の調査を開始せり（東京來電）

同成會總會

上院

貴族院同成會にては十三日午前十時總會を開き幹部以下十九名出席加州排日問題尼港事件等に就き協議し決定に至らず正午散會したり

山本農相旅行

山本農相は九州沖繩共進會並に廿五六兩日福岡縣に於て開催の政友會九州大會に臨席の爲十三日午前八時半東京驛發西下したるが來る廿八日頃歸京の豫定（東京來電）

野田遞相西下

野田遞相は來る十六日午前八時三十分東京驛發途中伊勢神宮伏見桃山御陵に參拜して關西に歸省し十九日福岡に開催の政友會九州大會に列席すべしと（東京來電）

古賀長官復命

滿鮮視察中の古賀長官は十一日夜歸京十三日朝官邸に原首相を訪ひ詳細復命せり（東京來電）

志賀醫院長出發

新任總督府醫院長志賀潔氏は十三日午前八時上野驛出發赴任の途に就けり（東京來電）

治鮮方針更改乎

原首相中樞院官制改正中止を命ず＝民意迎合主義擲

政府は朝鮮の情勢日を逐うて惡化し民意迎合主義が殆ど半永久的騷擾狀態を馴致せんとする形勢あるに鑑み昨今早くも對鮮方針に變改を加へんとする意あり現に現行朝鮮教育令改正に關する審議會の意見に對し遂に其一部の審査見合せを命じたる外總督府官制の改正に伴ふ實施の一として現任者の將來せる朝鮮中樞院官制の改正は數日前原首相の嚴命により法制局に於ける審査を一時中止するに至れり夫の審査立會の爲め滯京中なりし總督府參事官萩原氏が八日朝急遽歸鮮の途に就けるは教育令改正勅令案の審査終了に關する報告の爲めなるべきも主として該官制改正の中止に伴ふ善後打合の爲なりと云ふ而して右中樞院改正案は現在の參議及副參議を廢して參議を置き副議長及參議の任期を二年若くは三年と定むる外內鮮人の差別的待遇を撤廢する意味に於て此等鮮人官吏の待遇を高め隨つて給與も現在の約三倍に增額し大に民意迎合主義を發揮せんとしたるものなりと云ふ

殖銀職制改正

內容

殖產銀行の職制改正に就ては既に理事會の成案決定目下尙細目に亘り調査中にて未だ總督府には提[illegible]

警官募集好績

定員に五倍す

目下內地に於て募集中の一千七百名の警察官は嘗て見ざる好成績にして去る十一日迄の應募者は五千六百二十六名あり內試驗合格者は二千百三十五名にして來る二十日の締切迄には約七千の應募數に達すべき狀勢にあり當局にては如上合格者中優良なるものを選拔し續々朝鮮內に輸送し來れるが既に到着せるは京城二百五六十名黃海八十名平北百名咸南八十名合計五百十六名なりと右につき國友警務課長の語る處に依れば昨年度の募集當時は恰も財界好況の絕頂に達し警官募集上少からず苦心せり從つて其の素質の點に於ても遺憾多かりしは事實なるも過剩人員九百名を以て漸次陶汰を行ひ來り更に今回の募集に於て愈の傑を採用し得たるを以て向後續々不良分子を淘汰すべければ全鮮警務界の面目は全く一新するに至るべしと

遞信第二次異動說

近く大交迭を行ひたる遞信局部內にては更に第二次異動行はるべしと傳へらつゝあり

辭令

任朝鮮總督府道事務官　敍高等官四等　吉村謙一郎

（各通）

[illegible]

一千萬圓補給容認

總督府明年度豫算奈何

總督府明年度豫算は關稅改正の結果に依る減收を補塡する爲豫算査定に際し所得稅酒稅等の改正を立案するあり尙二千萬圓程度の不足ありて之を政府の補給に仰つ所ありしが該要求は到底實現困難なるも近北鮮地方動亂に鑑み一千萬圓程度にて補給の必要あるは當局も認め居れる由某大藏當局は語れり（東京來電）

李王職の內部革新

官制分掌規程改正と共に職員の淘汰行はれん

李王職官制は從來屢改正せられたるに拘らず未だ革新の大斧鉞は揮はれたること無く人の爲に官を設くるの譏をさへ受けたることあり日韓併合後の過渡期に於ける特殊の官職として容易に外間の觀測を許さゝるものある關係上頗る消極的態度を今日に及びたるも時勢の推移は李王職のみを其儘外に置くべくもあらず總督府にては遂に斷乎として[illegible]

……事實だ。財政整理に起因してゐるのは勿論で、斯かる整理上の淘汰は何れにしても當然だらうと思ふ。馘首される人は未だ發表出來得ない、私が總てを知つてゐるだけ云ひ難い殊に人身に關することは何うも困るよ。六課半減も事實に違ひない、從來の掌侍、庶務、會計、營繕、祭祀、儀式、掌苑と云ふ一司六課だつたのを三課に減縮しやうと云ふのは確だ。マア、餘り成績も濟んだし大きな行事も終つたから、無駄なもの除く必要は論を俟たない事だ。發表は何れ餘り遠いことぢやない。總督本府から新しい人が來る等とを云ふ事は決してない」云々

興鐵總會終了

拂込金四圓七十錢にて解散と決せる朝鮮興業鐵道株式會社に於ては十四日午後一時より東拓階上に於て臨時株主總會を開き解散當時の財產目錄並貸借對照表承認の件に就き決議する處あり[illegible]の如く來る十五日より十一月十日迄に全部の拂込金を拂戾すべく夫々株主に對し通牒を發したるが拂戾株金は一株に付四圓七十四錢なりと

上旬鐵道運輸

本月上旬に於ける鮮鐵運輸狀況を聞くに旅客は天候も引續き良好なりし爲め一般に人出多く其の他平[illegible]

左の如し

		前年同期比較	
乘車人員	四四、八二三人	同	四〇、六九九增
貨物噸數	八一、五九八噸	同	[illegible]減
客車收入	四〇、七[illegible]圓	同	八三、四四六增
貨車收入	二三、五九[illegible]圓	同	六、四五四增
一日一哩收入	一四〇、六三錢		五、四九增

肥料合同計劃

財界の不振は春來擴張發起せられし同一目的の諸會社を合同統一して經費の節減と資本の豐富を計るべく計畫せられ續々に汽船大合同土地會社大合同と頻々傳へられしが今亦肥料會社の合同談は大日本肥料會社、朝鮮肥料會社日本化學肥料の三社を合同すべく準備一大に斡旋に力め居れりと。

元山炭の活躍

元山一等塊は市場在荷の拂底にて殆んど無合の狀態なるが其時某一萬斤に對し十圓方の値上を發表せしが產地に於ける採掘減と需要季節の關係上斯く活躍を見るに至りしが目下一萬斤百五十圓見當を唱へ居れり

旅行團去來

▲京城高等普通學校職員生徒百三十一名は十三日午後五時仁川より歸校せり
▲仁川普通學校職員生徒四十八名右同
▲京城私立培材學校職員生徒三十三名は十四日午前七時廿分論山へ出發せり
▲同校女學校職員生徒百六十一名は同刻龍山練兵場へ

社告

本社は從來釋尾春芿氏を社長とし青柳綱太郎氏を副社長とし眞繼義太郎氏を主幹とし三人の共同經營に屬せし處今回經營上の都合に依り青柳眞繼兩氏脫退して社長たる釋尾春芿氏一人の經營と致し益々社業の發展を圖る事に致候間此段謹告到候

尙兩氏は本社を脫退致候も今後本社の社友として本社に聲援を與ふることに相成候間是亦併せて謹告致候

大正九年十月十二日

京城日日新聞社

謹告

從來小生等釋尾氏と共に京城日日新聞を經營致し來り居候處今回都合に依り同社を脫退致候在社中の御眷顧を謝し將來共御厚誼の程願上候也

大正九年十月十二日

青柳綱太郎
眞繼義太郎

謹告

以上社告及謹告の通り青柳眞繼の兩君今回本社を脫退致し小生獨力にて經營致す事に相成候に付飽迄孤軍奮戰社運の發展を圖るべく決心致し陣容を新にして奮戰の第一線に立ち候益々四方諸賢の御勢援を願上候

大正九年十月十二日

京城日日新聞社々長　釋尾春芿

加州排日の眞相（上）

其根本的解決策

劍橋生

排日問題の根本的解決策は人種的差別の撤廢より外なしとは既に[illegible]行のネーション誌が論ずるところである。余は最近に於て北米東部地方を旅行し更に太平洋沿岸に來つて先月初め歸朝したのである故に米國一般の日米問題に對する態度を明かにし得たると共に、更に排日の中心地たる太平洋沿岸の狀況をも觀察し得るの便宜を得たのである。而して今回の排日が從來のそれと如何なる點に於て同樣であり如何なる點に於て從來のそれと異るやをも知ることが出來たと思ふ。

從來の排日論者も又現在のそれも共通に排日の論據とするところは、第一日本の勞働者は

賃金低廉

にして勞め米國勞働者の職業を侵し去り、第二日本移民は其の生活程度の著しく低きことは全然異なる米國の習慣を破壞するといふのである。然し乍ら前者は先頃上院の調査委員が親しく觀察した結果、事實に反せることを發見して、即ち日本勞働者と米國勞働者との間には賃金上何等の差異なく、中には日本勞働者にして米國勞働者に依つて組織せられたる勞働團體に加入せる者さへあり、ある米國勞働團體が定めたる公定最低賃金以上を要求し得ることを發見した。第二の日本移民が米國の風俗と同化せずとの理[illegible]

浴衣がけ

に下駄ばき[illegible]

不快に感

[illegible]

排日氣分

[illegible]

自然支那

に同情して[illegible]

肥料合同計劃

京城電氣協會許可

京城本町二丁目氏外二名より申請中の財團法人朝鮮電氣協會は八日付設立許可せられたり

志士追悼會

京城在住民間有志數氏發起の下に來る十一月五日を期し朝鮮に於て殉死せる志士のため盛大なる追悼式を擧行すべく寄々協議中なるが會場其他は追つて公表せらるべしと云ふ

齋藤總督東上

齋藤總督は明十六日午前九時五十分南大門驛發列車にて豫算問題其他重要政務打合の爲め東上の筈なるが隨行は守屋秘書官にして滯京日程は目下の處不明なりと

軍司令官伺候式

過般大庭軍司令官着任の際軍隊長會議に出席して同伺候式に參列せざりし二十四師團管下各部隊長は十三日午前十時軍司令部に參集伺候したり

兩局長東上

河內山財務局長は豫算問題の爲め篠田法務局長は內地司法官會議出席のため孰れも十五日午前九時五十分發にて東上の筈なり

北里博士一行

北里研究所長醫學博士北里柴三郎氏一行五名は十四日午後十一時釜山發陸路大連に向へり

風塵錄

▲本紙の內部は本紙の社告の通りに改造されて從來の三人共同經營と云ふ形は釋尾社長一人の獨力經營と云ふことに定まつた。其事情なり內容は昨日の本紙一面に於て第百一號に題すと云ふ釋尾社長の筆に依りて詳である、兎に角世間では今にも三人が喧嘩でもするやうに言はれて居つたのに、創刊前後より約半ヶ年以上經營難の中に三人が協調を保持して一度も醜い爭をした事も無く、今回の改造に就ても何等の衝突無く圓滿に解決したのは、寧ろ美談として傳へたい位である▲世間の事業中新聞經營程困難なるものは無い、何となれば新聞雜誌は不生產的のもので出る金は多くて入る金は少くない。其れで今日の日本人では新聞雜誌に金を出すと云ふ元氣のあるものは少くない新聞雜誌で成功する丈の手腕ならば大概の事業で成功せないものは無いと言はれて居る▲釋尾社長は雜誌朝鮮及滿州を經營すること十餘年間、第百六十號に達して、朝鮮滿州を通じて言論界に重きを成して居る、近來新聞の方に精力を奪はれ雜誌の方は大分影が薄くなつたと云ふ批評はあるも、兎に角動かすべからざる根底を築いて居る、まづ成功と云ふて善い、此手腕と忍耐と勇氣を以てせば日刊新聞の經營も困難ではあるまいと、社中では意を强うして居る▲帝國の國權擴張と民族發展の爲に十年一日の如く筆陣を張りて朝鮮の野に奮鬪して居る釋尾社長に對して、心有る者は勢援助力成功せしむるに吝ならぬと信じて居る

人事

▲石塚總裁（東拓）十三日午前十時[illegible]
▲人見理事（右同）右同
▲野口博士
▲中村工兵大佐[illegible]北行三名にて同日午前九時五十分安東縣へ
▲松倉弘毅氏（朝鮮陸軍倉庫[illegible]）時局用糧秣調査の爲め十三日南鮮に出張せり
▲關野貞次郎氏（工博、金剛鐵道顧問）十四日午後七時元山方面より入京
▲長谷川龍助氏（拓林鐵道顧問）入京中の所十三日朝南大門驛發東上
▲高木錄太郎氏（軍司令部技師）十二日附二十師團司令部附

社告

右兩氏は本社理事として營業部に在勤致し大に精勵致居候處本人の都合に依り今回退社致候間此段謹告致候

眞繼政次郎
宮本信治

京城日日新聞社

右今回本社營業部長として入社致候間此段謹告致候

北川吉昭（舊名吉三郎）

京城日日新聞社

謹告

從來私儀京城日日新聞社理事として營業部に勤務致居候處今回都合に依り退社致し同時に京城新聞社朝鮮研究會常務理事として入社致し候に付不變相御同情を蒙り度併て在社中の御眷顧を謝し尙將來共一層御厚誼の程偏に願上候也

大正九年十月十四日

宮本信治

商況

大阪株式

銘柄	十四日前場寄引	十四日後場寄引
大株	九六、〇〇	九六、七〇
同新	九六、四〇	九八、〇〇
郵船	一三八、三〇	一三九、〇〇
同新	五七、五〇	―
商船	―	七三、二〇
同所	二二、八〇	一九四、五〇
鐘紡	一九四、三〇	一七六、〇〇
同新	一七四、六〇	九四、六〇
東紡	―	九四、〇〇
中岡	六六、八〇	六四、〇〇
堂米	九九、一〇	―
上取	三五、〇〇	三五、七〇

東京株式

（十四日前場）東株 二〇八、五〇

十三日大阪入電後場

銘柄	
大株	九六、〇〇
同新	九七、一〇
郵船	一三八、六〇
同新	五七、〇〇
商船	七三、五〇
鐘紡	一九四、六〇
同新	一七二、四〇
東糖	六四、六〇

十三日東京入電前場

銘柄	
鮮銀	一〇五、五〇
同新	二九、〇〇
東拓	四二、八〇
同新	一一、五〇
滿鐵	九八、〇〇
同新	一五、〇〇
日清	四二、五〇
同新	一一、〇〇
東株	一七、五〇
連取	三五、〇〇

京株市場出來値（十三日）

銘柄	前場	後場
京取	一八、三〇	一七、八〇
同	一一、九〇	一七、九〇
同	一一、八〇	一一、八〇
東拓	二六、〇〇	二六、八〇
東新	―	一六四、五〇
鮮銀	―	四一、五〇
商銀	―	三七、五〇
東拓	四六、五〇	―
同	四五、二〇	―
鮮土	一二、三〇	一一、七〇
朝紡	一三、〇〇	―
朝紙	二六、五〇	―
京電	五五、三〇	五五、五〇
瓦電	五三、〇〇	五四、〇〇
殖鐵	六六、八〇	六六、九〇
同	六八、〇〇	六八、〇〇

出來高 [illegible]

仁川期米特電

十月十四日前場 [illegible]

鮮銀券日報

[illegible]

京取金利

[illegible]

東京期米特電

十月十四日前場 [illegible]

大阪期米特電

十月十四日前場 [illegible]

十月十四日後場 [illegible]

▲女給仕入用▼ 京城日日新聞社

芙蓉の花

世界中での最新法
英國よりも先に採用した
林田代議士の談

浦鹽臨時政府の選擧法は……

天長節の御宴
御見合となる

增派憲兵
急遽出發す

……方の事態に鑑み取敢ず内地より憲兵若干名を急派し間島監視の任に當らしむることゝなり來る二十日迄に召集されたるものは十數名にして全部出發する筈にて東京より從來東京驛を出發せり（東京來電）

滯米三十餘年
日米親善の努力者
高峯博士危篤の報至る

……も同樣此種の事業を海外に於てしむべく既に着手し共同出資にて日本に工場を設き同社從來……提供するとになつたので博士は石川縣人にして化學者として且日米親善の爲め……數年間米國に活動せしは人の知る如くである（東京來電）

東宮殿下行啓
參謀本部へ

惰氣滿々
平凡な法廷
花井博士去って

張督軍
晴の制服
勿驚一着の代金二萬圓

……に混亂を極ぬる現在の支那で得意の人物は何と云ふても東三省巡閲使張作霖氏である奉天の……に地の利を占めて張將軍は何も北京を牽制し得る實力を有しも他からは斷じて容喙や干渉さぬ立脚に居る其張將軍是近日本訪問を思ひ立つて居たが……

皇太子
殿下の御歐遊を……

伊庭大尉墜落す
生命危篤、同乘者即死

……所澤にて十四日朝伊庭大尉飛行中墜落重傷を負ひ生命危篤同乘職工は即死せり（東京來電）

賊團尚機を窺ふ
國境出兵地方は平靜

急派せられたる軍隊到着の國境方面は至極平靜なるもの如きも依然支那馬賊に奥地に集團を爲しつゝあり十三日支那汪清縣百草溝奥に數百の馬賊團現れたりと（龍源來電）

天長節の祝砲
漢陽公園で發射に變更

天長節の祝砲は從來龍山に於て發……（四日來電）

飛行の新記録
一時間に百九十餘哩を

飛行家ヘラメ大尉はビュークに於て十秒三にて一基米突を飛行し世界のレコードを破りたり該レコードを以てすれば一時間百九十哩九十五を飛行することなるべし

家華を……

燒土に棄……

爆藥其他續々發見
八幡警察署大活動を開始し危險人物數名を逮捕す

釜山警察署爆彈事件連累者が八幡市内に潜入せる形跡あり八幡警察署にては連日連夜警戒を行ひ嚴重に危險物の調査をなし居れるが十二日午前六時より同八時迄の二時間に亘り銃器彈藥刀劍等の隱匿者を檢擧すべく勞働者部落殊に朝鮮人下宿屋等の詳細なる檢査をなした結果市内二ケ所に於て合計二十個のダイナマイト並に雷管二個導火線二丈六尺六寸大小刀劍三十二本を發見するに至れりダイナマイトを所持せる人物は三名にして朝鮮人にも内地人にも關係ありと稱せられ居るも姓名其他は絶對秘密に付せられ居れり爆發物を所持せる朝鮮人中には釜山事件其他某重大事件にも關係ありと想像せらるるものあり尚爆彈の出所は不明なるも他より持ち來れるものと推定さるべき理由あり押收せる多數の刀劍は其多くは朝鮮人の所持せるものにて當局は更に不眠不休の活動を續け問題の眞相を究むべく鋭意努力しつゝあり（八幡來電）

釜山爆彈の
連累者
德山に逮捕

釜山警察署爆彈事件に就き某警察署の刑事巡査三名は過日來下の關方面に出張連日活動しつゝありしが火藥の出所たる德島縣那賀郡立井町鶴代梶三郎（五二）に關係あることを突留め十二日刑事二名德山に來縣し富岡警察署と協力して同人を逮捕し十三日朝神戸を經て下の關に引還せり（廣島來電）

殉難者の碑を護る
只一人尼港に踏止まり
若き禪僧三浦義貫師

尼港に於けるパルチザン暴虐の跡「尼港事件殉難者招魂碑」に前に額いては七百有餘の陸海軍人及在住民の崇高偉大なる犠牲に感激の涙を灑つて恭しく碑前に額き唱名念佛する一人の僧侶がある僧は福井縣吉田郡曹洞宗大本山永平寺安居の三浦義貫師であって齢未だ三十を超えざる青年僧であるが一文字の

大き眉
引締まれる口元は一見して意志強健敢行堅固の稟備たるを肯定せしむる義貫師曰く「嗚呼この大惨虐、私は胸迫り感極まつて多く言ふ事が出來ない、遍歴の際永平寺の安居を出で東京、水戸其他の地を巡錫して殉難者遺族を慰問し今回親しく此の惨虐の跡を弔たのであるが今此の恐ろしき尼市の實物、同胞の

死屍累々
たりし幻影を目撃しては神經の興奮絶頂に達して悲憤の情の一層切なるものがある内地に於ては或は追悼の法會を營み又は遺族慰問の途を講じ國民の血と涙とは期せずして集まつたが而も如何なる美事も未だ是等無辜の怨みを呑んで國難に殉じた生靈を慰むるに足らざるを思ふ、殊に同胞七百の橫死は是等普通の

餘りに慘
の慘たるものであるから如何なる方法を以てする事が生靈七百の死斛の慨恨を霽すに足るかといふ事は敢て言明しない、歴痕今尚ほ乾かざる此の碑を枕に守備兵を擁して在市の邦人を悉く引き揚げしむるといふ事は泪に觀念の極みである私は僧侶として尼港撤兵に就ての政治上……

サーベルのお次は
巡査の服裝と提燈
夏の白服は目立って不可い
肩章は無用、提灯は非文明

警官の提劍を短劍に改める事は既に地方長官及警察部長會議で

決定し
たが更に警官の服裝を改めようと云ふ意見が警察部長會議の席上で警視廳は勿論其他一部の警察部長連の間に持上がつてゐる冬服は兎に角として夏季の白服は雑踏した場所の取締に非常に目立ち、夜間巡邏中にも遠方から一見して警官と判る爲、職務上

弊害を
來す事がある又四季を問はず肩章は必要を認めず雑踏場所の整理中群衆の爲に剝脱される虞れもあるから廢する必要があり夜中携帯の提灯も極めて非文明的であるから他のものと改正したいと云ふのであるが白服を改めて何色にするか

適當な
ものは未だ決していないがカーキ色なども良く提灯は廢めて懷中電燈にせよと云ふ意見も可なり多いさうである

京城 花柳界の今昔譚
紫の煙と共に吐出す
宴會の氣分が變った
券番の創始は何時頃
料亭千歳の女將の談

女將は朝日の紫煙をぷうーつと吐いて、「妾がこんな事を言ふと何だか高がお茶屋の婢の癖に生意氣と誹るのぢやないと云ふ事を諒めて總督時代の政治家を讃めて貰ひたい。統監時代の役人をクサシたりする、失敬な女だと思召す方があるかも知れませんが」と語を續けた。此處に烏渡お斷りするが、昨紙の「妾は隱れた政治家です」の意味は女將が花柳界の隱れた政治家であつても、決して總督政治を云々する女政治家であると云ふのではない。それは以下に述べんとする「花柳暇から觀た政治家實業家」と云ふ意味であつて決して千歳で

內鮮同席と
云ふ工合でしたあの時分は、例へば宴會でも、決して分け隔てをする樣なことはなかつたのです。斯う云つた後に近頃の宴會振りを引合ひに出すとイヤに當てつけたやうになります

……角朝鮮人と云ふものは、信用したら限りがない位ですからネ、濃情で抱き込んで置くのが一番良策ですよ。殿さん等は、鮮人の方と同席してゐて相手が煙草を吸はれる時はわざ〱御時分が立つて行つて點けて上げなすつた位です獨立騷ぎなんて隨分馬鹿な事ぢやありませんか、いくら豐作、好景氣だと云ふ風が吹いて金を貯めてゐても、獨立騷ぎで棒に振つちやうのでせう──兎に角とし〱宴會にでも呼んで、信用させるのが一等です」と一風變つた立場からの理屈を打ち切つて漸く獨特の述懷に移る「其の時分在つたお茶屋では清華亭、菊水、松葉、花月、いかと云ふ顔觸れで、三太、文助、昭助、おかよと云ふ名妓が揃つて居りました。検番の創立されたのが明治四十二年だつたと記憶へて居ります

何でも本陣
を有つてゐないとお客のところへ出られなかつたので、主立つた人たちで相談をして、殿さんに願つて檢番の創立を願んでみましたらそりや良からうと云ふので三浦理事官に東京、京都大阪の實情を觀察して戴いて出來たのが中券、京城券です。斯う云ふ工合で、京城花柳界の源泉は、大變政治家と縁の深いものです。從つて當時の藝者は始終政治家の席に侍つてゐたものですから、自然政治方面に興味を有つた藝者が多かつた譯です。殊に其頃の藝者氣質は、俠氣と意氣とで通したもので、妾たちの生立にも廊下出たら袖と褄を持て裾に酒がこぼれたら紙や手布で拭かずに袖で拭けと云ふ調子に教へられて來たものです。藝者に俠氣と意氣とを去勢したら、宿場女郎と何の變りがありませう」

凄まじき慘害の跡
全鮮の虎疫二萬五千
一日の新患者尚百五十を算す

全鮮に於ける虎疫は漸次終熄の形勢にあるも尚一日約百五十内外の新患者發生あり内最も多數なるは依然全羅南道管下にして他道は殆ど散發的となれり今十二日迄其筋に達したる報告を見るに初發以來の患者累計内地人百五十九人鮮人二萬四千八百四十八人支那人五合計二萬五千十二人の多數に達し而も其約半數に當る一萬三千四百三十六人は全南管内の患者にかゝれり

自動車
小女を
轢殺す

府内南大門通り三丁目京城寫眞館自働車運轉手平田清七（三）は十三日午後六時頃鮮人客數名を乘せたる第百十一號の自動車を運轉して同町四丁目關弘植方前の道路に差かゝるや附近は諸車の交通頻繁なる爲徐行し居たるも突如道路を横斷し來れる龍山榮町大谷キ……

京城神社の
境內面目一新
神橋成り
玉垣も出來た

京城神社境內の神橋は工事請負に成る京城土木建築協會有志會員の寄附並に監督者の熱心なる督勵とよりて極めて見事に市内他に比較なき出來上りにて十四日午前十時宮司……

無理を承知で
引請けた衞生事業
仁川でも糞尿の岡、塵芥の山
苦情百出に府廳は大面喰ひ

府內の掃除が頗る不行屆きであるとの批難は屢耳にする所で有るが出て二、三ケ月前府に於て調査を行ひ府尹の手元まで其案が迴附された筈で有るが案に之が擧竟個人に契約經營せしむる爲めで有らうから寧ろ此際思ひ切つて府の直營にす可しとの意見

不備の點
が有つたか但しは他に何等かの理由が出來たのか今以て協議會に諮問した噂も聞かない、然し掃除の不行屆きなのは今以て不行屆きで掃除事務所の電話番號九百二十三番は絶間なしの文句百出のお話中で有る、如何な府廳でもマサか何所かでドらかして具れるだらうと否氣に構込むでは居られまいが然し今日の樣な有樣では今の中に仁川には小便の流れ、糞の丘、塵芥の山を築き上るで有らう其に就て某

故老の談
に「一體戸數八千有餘戸、人口三萬三千有餘の都會に於て僅か計りの人夫を使ひ吹けば飛び相の痩馬十頭と壞れ掛つた十四臺の車に四百に足らぬ桶とを以て府費に掃除をしやうとするのが間違ひで契約者との契約に依り其契約者に一任して僅か二名の監督を派出して事足れりと爲すのが根本的に不行屆きであるとはねばならない、現在の契約者府廳が僅か九千六百圓の補助金で此仕……

薩摩琵琶大會
公會堂に於て

東都薩摩琵琶界の双璧として永田錦心氏と共に琵琶界の革新者として有名なる牧野錦光氏は過般來の滿鮮社員慰問の演奏を終へて入京せるが昨十四日より三日間京城日報社の後援により長谷川町公會堂に於て得意の秘曲を彈奏し筑前琵琶よりも各教師連應援す

……常任幹事長寄附代表者等によりて鎭座式を行ひついで工事竣功奉告祭りを行ひたり因に同時に工事中なる玉垣もほゝ出來上り目下著々竣工を急ぎつゝあれば大祭前には賛成すべき神樂と云ひ玉垣と云ひ境內の面目全然一新し數段の風致を添ゆる事となりたり

秋祭と龍山
御旅所の裝
飾だけに止む

龍山各町總代は十三日午前十時より府廳出張所に集合今回執行せらるべき祭典に關し各種の催し物等に就き協議したるが前後二回の水害後にてもあり且つは義捐金の醵付をも受けたる際合にもあれば今回は造花提灯等を以て賑々しく御旅所を裝飾し敬神の誠を表はすに停めんとの協議一決し尚ほ諸般の打合せをなし正午散會せる由

麗子旭紅演奏會

京都大日本天紋會教師旭紅會長麗子旭紅女史は筑前琵琶界の明星として一般周知の人なるが今回の來鮮を機會に朝鮮新聞社の後援により昨十四日午後七時より壽館に於て優麗なる歌曲神技に入れる彈法を以て「敵爲合戰」「菅公」「勸進帳」……

死豚を賣る

仁川府支那町三二四鮮肉商支那人趙時昇は病死したる牡豚一頭を九日午後十時頃秘かに坂町殷鳳鉉方に持行屠殺の上、賣捌き得る事を發見され不届な奴と金三圓に處決され肉は食用に支障なしとて本人に下渡されたり（仁川）

運動界
全釜山野球團來城

十七日滿鐵と決戰
全釜山野球團は來る十七日（日曜日）來城午後一時より體育協會主催の下に鐵道グラウンドにて滿鐵軍と決戰を試むることに決定せり

祖師法要と說教

仁川寺町妙覺寺にては祖師日蓮大聖人の六百五十年紀念報恩の爲め十二十三兩日午後七時より人格の日蓮（高木忠氏）及死より生に（日蓮宗朝鮮布教司監渡邊道瑛師）の法要並に說教ありたり（仁川）

小學校秋季運動會

▲西大門公立高等尋常小學校は來る十六日（土曜）午前九時より秋季大運動會開催の筈
▲櫻井尋常小學校は昨十四日（木）午前九時より運動會を催し午後四時盛會裡に終れり

黑死病
猖獗を極む

十日カイラストムラにベスト疑似患者發生死亡せり又十二日カブツアガイツイ（滿洲里北方百露里）に二十一名のベスト患者發生益猖獗を極めつゝあり（哈爾賓來電）

西伯利の
文句百出

の原因て有る俗で爲うせやうとするのが……府の直營　とせんか其には府當局は出來ないで有らう如何に安からう惡からうで仕事の結果は如何でも安くさへ有れば良いとするのは爲政者の大に愼むべき所ではあるまいか、所謂現契約者に一時入で補金するか或は斷然府直營にさるか孰れかに爲ねば仁川府民は終に糞尿の包圍攻擊に陷る外はあるまい云々」（仁川）

西伯利へ
汽車時間改正
京釜線の一部

京釜線列車時間中午前十時二十分京城發……更に十月十日より實施したるが同時に第四十九號列車及び午前四時三十五號列車は當分の間之れを廢止したりと

大田發 午前一時五十分
鳥致院發 三時十分
成歡發 四時五十五分
水原發 六時十五分
永登浦發 七時十一分
龍山發 七時四十一分
南大門着 七時四十七分

鶴田畫伯帝展に入選す

西洋畫家鶴田吾郎氏は、豫て朝鮮に於て力筆を揮ひたる「盲目のエロシエンコ」を出陳し今回帝展に入選したり（東京來電）

紅燈私娼
ロ ー マ ン ス

シベリヤに泣く女
（三）
醒めて行く心の捨鉢、醉はんとする心の迷

「子供は却つて永く育てると、手放せなくなるから」と言ふので、間の養育料を付けて夫婦の懇意な人に預けてしまふ事に定めて、之れから先の身の處置を始めて、顧みたところには、お蝶の身に積れる少からぬ借財が大工夫婦の手に握られて居た。「女と言ふものは、何處にがつて居るか分らない、まア踏んばつて、やつて御覽」と夫婦に說き伏せらるゝまゝにお蝶は何氣ない、漫然な

狼心から
其時始めてほんの少しばかりに分けて貰ふばか

水揚金高
の幾分かを入のあらう筈もなく、何月の稼業に馴れぬ身では、餘分の收かなかつた。

……赤兒は病身であつた、尤も其頃お蝶には解らなかつたが、何代だ、何だと言つて毎月お蝶の手許に、せびりつかれる金は少くはなかつた、始めの中こそは多少の金も蓄つて居たので、言はれる儘に送つて居たが、夫れとて永く續

仕替を望
仕替へを望する心の迷ひであつた。

面白可笑
しく暮して其の日をさへ身の前後は奈何ならうとも其の日お蝶が身を賣つて一年程經つた頃の事に充盈であつた。なもので、正直の所寂寥の中にも自分自身で不思議に思ふ程依頼は、行きたいと云つた樣な捨鉢な心の中にお蝶は何時か吸ひ込まれて居たのであつた。

西伯利へ
賣られて來たのである。お蝶は生れ變つた女にならうとして焦つた、努めて酒も飲み、賭博もやり、情夫狂ひもして飼うせ踏み外した一生の殘りを捨鉢になつて面白く可笑く暮して行かうと決心した。けれ共、世の中の鈍底に突き落された日數が未だ〱彼の女には淺かつた、お蝶の放埒は醒めて行く心の捨鉢でなくつて、醉はんとする心の迷ひであつた。

(四) 大正九年十月十五日 金曜日 京城日日新聞 (第三種郵便物認可) 第百二號

小説 判官 照手姫

（九十九） 旭亭楼山口演

敵味方死體の撰分

太郎の勢ひ凄いには、流石の兵助も呆れ返つて居る處へ、賊の首魁と覺しき数人が大刀を持つて大音に振り上げ、首領「悪賊な真似をするな此の若者覺悟を致せ」と振り下し來る、太郎「何を生意氣め」と此方は素手で對手に及ぶ、然し前ふは必死の事とうく〜勝負の虜ん中から目掛られて、太郎危く見えたるに、後ろ迄人太刀を閃かし、兵「汝は賊の首領か、己れ覺えたり、我は當家に逗留しゐる後藤兵助、汝が一命貰ひ受けるぞ」一合、二合するうちに兇賊の肩口から腕の下掛てけて切り付けたから、パツと血煙が立つて、小氣味好くも賊は倒れる、此時今一人の小頭らしい賊が△「己れツ」と同じく大刀を揮つて切込んで來る弟大八郎横合から 大「我兄に代つて汝を討取り呉れん覺悟致せ」と横に拂つた一刀には脆く〜胴體二つとなつて其れへ倒れた殘りの一人は是りや敵はじと思つたか刀を拋いてスタ〜と逃げ出すのを太郎「貴樣逃がしてなるものか」と左の手を伸ばし、賊の襟首引摑んでズル〜と引寄せると右手の拳を固めてポカーリ殴つた、賊の口さへ引つ裂く程の太郎の拳固を喰つちやア堪まりません、グツとも云はず眼をまわして了つた、池庄司はそれを見て 庄「其奴どうやら氣絶したやうだ、跡で介抱したら息も吹返すだらう生擒りにして置け」といふので太郎忽ち縛り上げた、

他の小賊共は敵はんと見て、バラ〜逃げ去つてしまつた、奉公人一同は手をついて一同「誠に有難う存じます、第一皆樣方のお働きには恐れ入りました、實は貴客方の力を借り度くない、自分達で盗賊を追拂はうと存じましたが手に乘りません、どうも貴樣のお手を頃けして申譯がない○「それからどうも太郎さん御苦勞様でございました、私は賊と間違へられ、お前さんの拳の味を一つ頂戴いたしました」△「ア、思ひ地獄私は貰ひを打たれてまた跡が痛みます」「其れは氣の毒だつた實は一々面倒だから、先づ一緒に打倒して置いて、跡で敵を拾ひ分やうと思つてね」兵「どうも皆さん腹を立てんやうにいつも太郎は斯んな事ばかりするので困ります、どうか此男の事はお許しを願ひ度う存じます」と後藤の挨拶、さて七郎右衛門は病氣の事ゆゑ出る、事が出來ず、病床の上で心配して居る處へ奉公人が參つて、新家の豪傑四人が斯樣々々で、賊二人の首を切り一人を小擒りにしたと話したから七郎右衛門は涙を流して喜んで居ります處へ、話の四人がやつて參り 四「高野氏、何一品も紛失は致さんから御安心なさい」七「誠どうも貴客方には難有く〜お助けを蒙りまして有難い仕合せでございます」枕邊の話はます〜進んで、四豪傑の働ひ振りから、太郎の意味方拾ひ分といふ奇談に達しました、其時に七郎右衛門も苦笑ひして、七「其れは痛い目に遇ひなすつたな併し太郎さん貴客の大力には全く恐れ入りました」

演藝案内

喜樂館 散り行く花 全五巻
電光石火
笠森お仙 全七巻
黄金館 電話二二六、二三七
第一聲 全五巻
田宮坊太郎 全五巻
血潮の鳴戸 全五巻
大正館 電話八七三番
白旗八郎 全四巻
孤松の棧道 全五巻
黒水晶 全六巻